知って！

\年２回、男女共同参画にまつわる新鮮ネタをお届け！/

男女共同参画ニュース

vol.1　～あらゆるシーンで男性も女性も活躍しよう！～

全てのシーンで誰もが活躍するために

こんにちは！

このニュースのタイトルにある「男女共同参画」とは、男性も女性も、意欲に応じてあらゆる分野で活躍すること。皆さんは性別のために窮屈さを感じたり何かを我慢することなく、個性や能力を生かして活躍できていますか？

さて、今年の自民党総裁選では二人の女性も立候補し、日本初の女性総理大臣が誕生する可能性がありましたね。女性の視点が取り入れられた施策や事業は、より多様なニーズに対応し、「ひとりひとりが幸せに暮らせる社会」の実現にさらに近づくといわれています。

市もただいま奮闘中！職員の女性管理職の割合は13.67％（令和２年度）とまだ少数精鋭ですが、日々の仕事ではどんなことを心がけているのでしょうか？今回のニュースでは、そんな女性管理職の一人である人事課長からのメッセージを紹介します。

女性管理職によるコラム

入庁当時から心掛けていることは、窓口などで対応させていただいた市民の方が、用件を済ませて満足してお帰りいただけるよう全力を尽くすことです。市役所は来慣れない方にとっては敷居が高いところであると思います。相談しに行ってよかった、電話してよかったと思っていただけるよう、誠実で丁寧にお話させていただくことをモットーとしています。

仕事をする上で心掛けていること

人事課長　浅岡優子

管理職となってからは、職員が安心して仕事ができる職場となるようにしたいと考えています。難題な仕事を上司や同僚職員がフォローしてくれたことで、安心して進めることができた若い頃の経験が印象に残っています。

職員は皆一人一人に役割があり、市の大切な人財です。意見を言い合え、相談し合え、能力を発揮し合える職場を作ることができる管理職でありたいです。

知らず知らずのうちに決めつけてる？それ、アンコンシャス・バイアスかも！

私たちはネイリストと工場長の夫婦です。

そう聞いて夫妻の職業はそれぞれどちらだと思いましたか？もしかしたらそれはあなたの無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアスと言います）かもしれません。

アンコンシャス・バイアスは経験や育った環境にも左右され、誰にでもあるもの。それ自体は悪いことではありません。でも、時として思わぬ押し付けになってしまうことも…。

市では、男女共同参画の弊害となるようなアンコンシャス・バイアスを解消するため、女性消防団員の加入促進や父親も参加する子育て教室なども企画しています。性別で役割を決めつけず、一緒に活躍しましょう！

皆さんの道しるべに！

\概要版もあります/

市も目標を掲げて取り組んでいます。

例えば令和７年度までに女性管理職の比率を20％以上にするとか、男性職員の育休取得率を30％以上にするというのもその一つ。第３次みうら男女共同参画プランには、そんな市の取組のほか、皆さん一人一人が意識を変えて行動していく道しるべになるように、分かりやすい読み物やイラストも多数掲載しました。是非ご一読ください！

第３次みうら男女共同参画プランはホームページにて掲載しています。また、市民協働課でも配布しています。

三浦　男女プラン　検索

問合せ　市民協働課（☎内線311）